

熊本県 南阿蘇村

南阿蘇中学校避難所

廣畑 芳久（稲城市立病院）



担当業務の内容

私は、平成28年4月29日から5月2日迄、東京都看護協会を通じて災害支援ナースとして、熊本県南阿蘇村長陽中学校へ行ってまいりました。主な支援内容は以下の通りです。

○インフルエンザ・ノロウイルス感染者や車中泊者の看護、トイレや部屋の掃除、感染管理、夜間救急対応、車中泊者へのエコノミー症候群防止対策等、村役場保健師や大阪日本赤十字社医療チームと連携を取りながら支援に当たりました。

苦労したこと・工夫したこと

前部隊との引継ぎが十分できずに急遽派遣することとなり、まず、現地スタッフとの連絡体制を築くことから始めました。管理書類の作成、看護協会とのWEB通信も試みました。物資が限られており、ある物で工夫しながら看護に当たりました。現地スタッフと携帯電話でやり取りを行い、お互いに情報交換することで効果的に業務を行うことができました。24時間勤務のため、チーム内で休憩交代しベンチに寝るなど体力的にきつかったです。

印象的なエピソード

体育館に約400名の方々が、着のみ着のまま避難されており、床に毛布を敷いただけで仕切りはありません。近隣同士が集まり区画を作り、お互い助け合う姿がありました。被災者自身がボランティアとして避難所の運営を行っており、相互自助の精神を学びました。また、現地の方々のやさしさに触れ癒されました。

所感

平成27年に起きた関東東北豪雨に続き2回目の災害派遣を経験しました。共通して災害時における高齢者・小児・障害者に対してより多くの支援が必要であることを感じました。災害時であっても、これら福祉を優先した支援体制が望まれます。今回の災害支援を通じ、避難所設置・運営・組織体制作りなど多くを学びました。災害医療体制作りや災害時訓練に参加し、今回経験した事を活かしていきたいと考えます。

